

住民の行政参加度 全国調査 東京・三鷹市が首位

住民の行政参加に最も積極的なのは東京都三鷹市。日本経済新聞社

市民の行政参加のランキング

自治体名	偏差値
1 三鷹市(東京都)	85.18
2 札幌市(北海道)	80.84
3 豊島区(東京都)	79.75
4 杉並区(東京都)	78.02
4 厚木市(神奈川県)	78.02
4 熊本市(熊本県)	78.02
7 岐阜市(岐阜県)	77.58
8 豊中市(大阪府)	77.36
9 流山市(千葉県)	76.93
9 練馬区(東京都)	76.93

区を対象に、住民投票を定めた条例の有無など「市民参加度」を測る16の指標を調べ、数値化してランキングにした。上位には多様な住民ニーズへの対応が求められる大都市圏の自治体が並んだ。(19日発行の「日経グローバル」に詳報)市民参加度や透明性などの観点から自治体行政

の革新度合いを探る「経営革新度」調査で明らかになった。市民参加度は住民投票や情報共有などの仕組みを定めた自治体基本条例の有無、非営利組織(NPO)への支援などを尋ねた。調査は9月11日に実施し、707市区から回答を得た。三鷹市は無作為に選ん

だ市民を市の審議会などのメンバーに起用する要綱をいち早く制定。今年10月には市の総合計画を話し合ったため、90人余りの「市民討議会」を2日間開いた。2位の札幌市は自治基本条例にまちづくり施策を市民が評価する規定があり、住民が市民活動抛

点のPR方法などを提言している。ランキング上位の都市に共通するのは自治基本条例の制定だ。2000年の地方分権一括法の施行を機に広がり、調査で161市区が「制定している」と答えた。06年実施の同様の調査(53市区)の3倍を超えた。